

C O N T E N T S

「DX REPORT 2023」の発行にあたって 02

JFEグループの社会課題解決に向けた取り組み 03

鉄鋼事業 07

エンジニアリング事業 11

商社事業 15

セキュリティ対応 17

免責事項

本レポートに記載されている当社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。そのため、実際の業績につきましては、今後の世界経済、日本経済や関連する業界の動向等のさまざまな要因により、本レポートに掲載されている見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知おきください。



DX戦略の推進によって、新たな価値を創造し、 社会の持続的発展に貢献します。

JFEグループは長年にわたり、鉄鋼、エンジニアリング、商社事業を中心に多彩な事業を展開してまいりました。これらの事業の中で蓄積し続けてきた膨大な操業データやノウハウ、技術は、他社が容易に真似ることのできない貴重な財産であり、世界最高水準の技術で社会を支える当社の価値創造の源泉です。当社ではこれらの無形資産とAI、IoT、データサイエンス等の最先端の技術を組み合わせることで新たな価値を創造し、社会課題解決につながるさまざまな取り組みを行っています。

また、高度化するサイバー攻撃や情報漏洩リスクへの対策は、グローバルに事業展開を行う上で避けて通ることのできない極めて重要な課題です。セキュリティ対策とセキュリティガバナンス強化は、DX戦略の推進と両輪をなす活動であり、「JFE-SIRT^{*1}」を中心にグループ一体となって着実に推進しています。

本年度は2021年度に策定した第7次中期経営計画の3年目にあたります。当社はDX戦略を重要な経営戦略と位置づけ、グループ全体でDXを推進してまいりましたが、CPS^{*2}を活用したインテリジェント製鉄所に向けた取り組み（P.7 鉄鋼事業ページ参照）や、GRC^{*3}をコア技術とした商品展開（P.11 エンジニアリング事業ページ参照）など、手掛けてきたさまざまな取り組みが徐々に具体的な成果となって現れつつあります。中期計画で掲げた目標を達成すべく、DX施策をさらに強力に推進し、企業価値の向上につなげていきます。

本レポートでは各事業会社におけるDX戦略の具体的な取り組み内容をご紹介します。本レポートが皆様にとって有益な情報となり、当社グループのDX施策に関するご理解を深めていただく一助になれば幸いです。



JFEホールディングス株式会社
常務執行役員
北島 誠也

*1 JFE-SIRT : JFE Security Integration and Response Team (P.17 参照)
*2 CPS : Cyber Physical System
*3 GRC : Global Remote Center

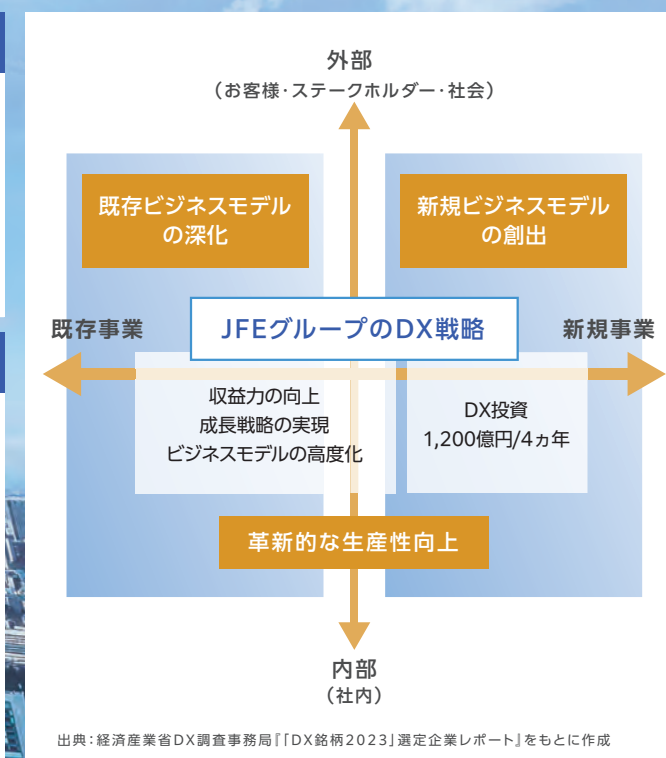
JFEグループのDX戦略

第7次中期経営計画(21~24年度)の取り組み

- DXを積極的に推進し、収益力の向上・成長戦略の実現・ビジネスモデルの高度化につなげる
- DX投資 1,200億円程度/4ヵ年
⇒21-22年度実績 意思決定48%

事業別戦略

- JFEスチール**
データの高度活用により競争優位を確立
- JFEエンジニアリング**
さらなるデータ活用による抜本的業務改革やデジタルサービス提供
- JFE商事**
DXソリューションの外販やグループ内活用により事業を創出



「DX注目企業2023」受賞

経済産業省、東京証券取引所、独立行政法人情報処理推進機構が選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2023」において、当社は、DXを積極的に推進し、注目されるべき取り組みを実施している企業として「DX注目企業2023」に選出されました。